

令和4年度
生駒市立病院 実施状況調査報告書

目次

診療科目	1
病床数	3
人員体制	5
患者数	7
質の高い医療の提供	9
地域完結型の医療体制構築への寄与	15
救急医療の充実	19
小児医療の充実	23
災害時医療の確保	23
予防医療の啓発	23
市民参加による運営	25
環境に配慮した運営	25
収支	27

病院事業計画(平成27年11月改定)		令和4年度 事業計画	令和4年度 事業報告
診療科目	14 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)
	上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとします。	・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師を確保し、専門外来の充実を図ります。 ・院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。	・院内の診療科間の連携を深め、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制（脳神経外科、心臓血管外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制）を推進しました。

令和4年度 事業報告の補足説明					取組の評価・課題	
<診療科目> 令和4年度において、診療科の変更なし <その他>					○発熱外来(帰国者・接触者外来)については、引き続き、発熱等コロナ疑い患者を受け入れ、前年度を上回る件数となっており、公立病院として市内におけるコロナ対応の中心的な役割を果たしている。 課題 高次医療機関と連携し、患者ニーズに合った多種多様な専門外来の開設を検討することで、診療実績を増やす必要がある。	
内容	開始時期	診察時間	R4	R3		
一般診療科(内科系、外科系を含めて総合的に診察)	H27.7~	月~金 17:00~ 19:00	2,425 件	3,015 件		
大学の腎臓泌尿器科外科教授による特別外来	H27.9~	月2回 PM (予約制)	220 件	305 件		
がん治療相談外来 ※1 (放射線科)	H27.10~	週1回 AM				
ペイン(痛み)外来(麻酔科)	H27.11~	月2回 AM 3月~ 週1回 AM	287 件	151 件		
助産外来※1 (産婦人科)	H28.4~	週1回 PM				
フットケア外来 (形成外科)	H28.6~	週3回 AM	457 件	463 件		
乳腺・甲状腺外来 (外科)	H29.10~	週1回 AM	830 件	945 件		
小児アレルギー外来(小児科)	H30.12~	週1回 PM	180 件	141 件		
まぶた外来※2 (形成外科)	H28.12~	週4回 PM 週1回 AM 6月~ 週2回 PM	251 件	453 件		
アンチエイジング外来※2,3 (形成外科・皮膚科)	H29.4~					
レーザー外来※2 (形成外科)	H29.8~					
下肢静脈瘤外来※2 (形成外科)	H31.4~					
※1 がん治療相談外来、助産外来については、一般外来患者数に含めて算出しているため、件数の算出が不可能 ※2 まぶた外来・アンチエイジング外来・レーザー外来・下肢静脈瘤外来については、形成外科(専門外来)として同一で予約枠を設定しているため、件数の算出が不可能 ※3 アンチエイジング外来については、6月から形成外科から皮膚科へ変更						
内容	開始時期	診察時間	R4	R3		
発熱外来 (帰国者・接触者外来)	R2.4~	月~金 9:00~ 16:00 土 9:00~ 12:00	14,490 件	12,306 件		
<高次、専門性の高い医療機関との連携実績> P12 参照						

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
病 床 数	病床数 210 床	(令和 5 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(令和 5 年 3 月 31 日) 病床数 210 床
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床
		病棟編成 5 病棟、 7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)	病棟編成 5 病棟、 7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)
		<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組めます。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、感染症患者用病床 26 床、疑似症患者用病床 1 床を引き続き確保します。</p>	<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できるよう内科等の常勤医師を確保しました。また、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組みました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、20 床から最大 28 床までコロナ感染状況に応じて受入体制を整備しました。</p>
		<p>・小児科の常勤医師の増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を充実させ、引き続き、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制の充実を図ります。</p>	<p>・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しました。</p>

令和4年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

	R4	R3	増減
実稼働可能病床数	170	184	△ 14
内) 小児科	5	5	0
内) 産婦人科	19	19	0
内) 内科系	67	75	△ 8
内) 外科系	71	77	△ 6
内) HCU	8	8	0

※各年度、3月31日現在の数値
 ※5階西(コロナ専用病棟)の休止病床を除く。

- 4階西病棟
 小児科・産婦人科・形成外科・一般内科の女性の一般患者を対象とした混合病棟
- 4階東病棟
 整形外科、腎臓泌尿器科、脳神経外科、形成外科、一般内科
- 5階西病棟
 新型コロナウイルス感染症陽性患者専用病棟
- 5階東病棟
 外科、消化器内科、循環器内科、血管外科

	R4	R3	増減
1日平均病床利用率	56.9%	50.8%	6.1%
1日最大稼働病床数	169床	167床	2床
1日最大稼働病床利用率	80.5%	79.5%	1.0%
月平均新入院患者数	253.7人	242.8人	10.9人
平均在院日数	14.3日	13.4日	0.9日

※病床利用率は、210床に対する利用率を記載。

(参考) コロナ専用病床の変遷

開始日	陽性稼働病床	休止病床	病棟名	施設基準	疑似病床
R2.4.14	—	—	—	—	5床(5東)
R2.4.27	—	—	—	—	12床(5東)
R2.6.1	—	—	—	—	5床(5東)
R3.1.5	12床	40床	5西	7:1	4床(5西)
R3.4.1	12床	40床	5西	HCU	4床(5西)
R3.5.1	16床	36床	5西	HCU	2床(5西) 2床(4東5東)
R3.8.24	20床	32床	5西	HCU	2床(4東5東)
R3.10.1	20床	32床	5西	HCU	1床(5東)
R4.2.1	24床	28床	5西	7:1	1床(5東)
R4.3.7	26床	26床	5西	7:1	1床(5東)
R4.6.9	20床	32床	5西	HCU	1床(5東)
R4.7.22	26床	26床	5西	7:1	1床(5東)
R4.9.1	28床	24床	5西	7:1	1床(5東)
R4.9.21	20床	32床	5西	7:1	1床(5東)
R4.11.1	10床	42床	5西	7:1	1床(5西)
R4.12.1	28床	24床	5西	7:1	1床(5東)
R5.2.15	12床	40床	5西	7:1	—

○新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況に応じて、陽性患者の受入病棟を増床し、積極的に入院受け入れを行うことにより、公立病院として市内のみならず県北部においても大きな役割を果たしている。

○市立病院の設立目的である市内の小児医療の充実のため、北和小児科二次輪番体制へ令和3年10月以降参加している。

○病床利用率及び稼働病床数など病床にかかる数値が令和3年度に対して増加している。

課題

コロナ感染拡大収束後の感染再拡大を含む新たな感染症への体制を確保しつつ、一般の入院診療体制及び救急受け入れ体制を維持する必要がある。

令和4年度 事業報告の補足説明							取組の評価・課題	
	R4		R3		増減			
	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算		
医師	内科	2	3.70	1	4.28	1	△ 0.58	○外来の看護師を増員配置し、増加する発熱外来に対応する体制を維持した。 ○コロナ対応に当たるスタッフに特別手当を支給し、スタッフのモチベーション維持に努めた。 課題 入院医療を充実させるため、引き続き不足する内科、整形外科の常勤医師を確保する必要がある。 令和6年度からの働き方改革の適用を視野に、医師事務作業補助者の配置、コメディカルによるタスクシフトの取組、ICTの活用により、医師の業務軽減を推進する必要がある。
	消化器内科	1	1.52	1	1.58	0	△ 0.06	
	循環器内科	2	2.00	2	2.00	0	0.00	
	外科	3	3.25	3	3.11	0	0.14	
	脳神経外科	1	1.12	1	1.09	0	0.03	
	整形外科	0	1.25	0	0.70	0	0.55	
	形成外科	1	1.38	2	2.67	△ 1	△ 1.29	
	小児科	3	3.00	3	3.00	0	0.00	
	腎臓泌尿器科	2	2.47	1	1.79	1	0.68	
	産婦人科	3	3.92	4	4.40	△ 1	△ 0.48	
	リハビリテーション科	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
	放射線科	0	0.60	0	0.68	0	△ 0.08	
	救急科	0	1.61	1	2.51	△ 1	△ 0.90	
	麻酔科	2	2.00	2	2.00	0	0.00	
	血管外科	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
皮膚科	1	1.00	1	1.09	0	△ 0.09		
計	21	28.82	22	30.90	△ 1	△ 2.08		
看護師	外来部門	47	54.81	45	54.82	2	△ 0.01	
	入院部門	97	102.88	96	103.23	1	△ 0.35	
	内) 准看護師	2	2.00	2	2.00	0	0.00	
	内) 助産師	17	17.00	16	17.55	1	△ 0.55	
	内) 保健師	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
計	144	157.69	141	158.05	3	△ 0.36		
その他	薬剤師	14	15.25	14	14.75	0	0.50	
	理学療法士	11	11.00	11	11.00	0	0.00	
	作業療法士	0	0.66	1	1.00	△ 1	△ 0.34	
	言語聴覚士	2	2.00	3	3.00	△ 1	△ 1.00	
	放射線技師	8	8.00	7	7.00	1	1.00	
	検査技師	12	12.00	12	12.00	0	0.00	
	栄養士	4	4.00	3	3.00	1	1.00	
	看護助手	17	18.12	19	19.64	△ 2	△ 1.52	
	臨床工学技士	7	7.00	7	7.00	0	0.00	
	事務職員等	63	68.40	54	59.07	9	9.33	
	計	138	146.43	131	137.46	7	8.97	
合計	303	332.94	294	326.41	9	6.53		

※血管外科は循環器内科の医師が兼任している。

<令和5年3月31日現在の非常勤職員数>
医師 67名、看護師 19名、その他 14名

<医師の業務軽減>
・医師事務作業補助者 13名（内科系3名、産婦人科2名、形成外科・小児科・皮膚科3名、泌尿器科1名、脳神経外科1名、整形外科1名、予約センター1名、フリー1名）
（令和4年3月31日現在の医師事務作業補助者数 11名）

<看護師、医療スタッフ等の確保対策>
・院内保育所の設置 利用スタッフ数 35名
（令和3年度 36名）
・看護実習生の受入 985名（令和3年度 865名）
・時短勤務 9名（令和3年度 9名）
・産休・育休利用 17名（令和3年度 14名）
・看護師の研修プログラム、奨学金制度
・コロナ対応スタッフへの特別手当の支給
・入職時研修、新人研修

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 4 年度 事業計画		令和 4 年度 事業報告				
患者数		1 日平均患者数		1 日平均患者数				
			入院	外来		入院	外来 (ワクチン 接種者除く)	外来 (ワクチン 接種者含む)
		4月	118.0人	233.0人	4月	117.7人	239.7人	267.6人
		5月	118.0人	213.0人	5月	98.7人	245.8人	277.3人
		6月	119.0人	225.0人	6月	87.3人	253.7人	278.7人
		7月	125.0人	248.0人	7月	117.2人	302.4人	339.1人
		8月	125.0人	258.0人	8月	134.3人	283.7人	343.4人
		9月	130.0人	248.0人	9月	126.8人	253.1人	281.5人
		10月	130.0人	258.0人	10月	103.6人	255.9人	278.9人
		11月	128.0人	248.0人	11月	107.3人	278.7人	326.1人
		12月	135.0人	278.0人	12月	138.1人	280.3人	327.2人
		1月	130.0人	254.0人	1月	157.9人	233.5人	262.5人
		2月	128.0人	253.0人	2月	138.0人	240.0人	260.8人
		3月	138.0人	253.0人	3月	107.4人	236.1人	247.8人
		年間平均	127.0人	247.5人	平均	119.5人	258.7人	291.2人
		<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる常勤医師の確保、救急を含む外来診療体制の維持のための非常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、積極的に広報活動や医療講演会を実施することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入体制を継続し、市民へのワクチン接種を実施します。</p>		<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組 入院医療に対応できる内科・小児科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。 また、コロナ禍においても救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動やオンラインによる医療講演会を実施し、入院、外来患者数の増加を目指しました。 新型コロナウイルス感染症対策として、発熱外来や疑似症患者及び陽性患者の入院受入体制を継続し、市民へのワクチン接種を行いました。</p>				
		<p>(市民への周知の取組) ・院内の広報委員会による広報活動の強化 ・ホームページ、LINE 公式アカウント、病院だより等による広報活動の推進 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む)の推進</p>		<p>※ワクチン接種者数(延べ人数) 令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 : 合計 11,835 人</p>				
		<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域医療連携室による地域の医療機関への積極的な情報提供を推進します。</p>		<p>(市民への周知の取組) ・広報委員によるホームページ、LINE 公式アカウント等のチェック、随時更新の実施 LINE 公式アカウント登録者数 1,429 人(令和 5 年 3 月 31 日現在) 〈LINE 公式アカウントの掲載例〉 ・医療講演のお知らせ ・イベントのお知らせ</p> <p>・病院だより 毎月 600 部発行</p> <p>・医療講演会 44 講座 参加者 2,283 名 (内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 4 講座 参加 114 名含む)</p>				
				<p>(地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 1,465 件、254 施設 (令和 3 年度 2,143 件、263 施設)</p>				

令和4年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

<入院>

(注1)

	R4		R3		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	9,473	26.0	5,122	14.0	4,351	12.0
消化器内科	2,757	7.6	1,639	4.5	1,118	3.1
循環器内科	6,072	16.6	7,815	21.4	△ 1,743	△ 4.8
外科	17,353	47.5	14,428	39.5	2,925	8.0
内)コロナ陽性者除く	13,764	37.7	11,016	30.2	2,748	7.5
脳神経外科	1,120	3.1	795	2.2	325	0.9
整形外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
形成外科	1,978	5.4	5,605	15.4	△ 3,627	△ 10.0
小児科	423	1.2	265	0.7	158	0.5
腎臓泌尿器科	2,246	6.2	1,755	4.8	491	1.4
産婦人科	2,144	5.9	1,428	3.9	716	2.0
血管外科	41	0.1	68	0.2	△ 27	△ 0.1
計	43,607	119.5	38,920	106.6	4,687	12.9
内)コロナ陽性者除く	40,018	109.6	35,508	97.3	4,510	12.3

※脳神経外科は令和3年6月からの実績

<外来>

(注1)

	R4		R3		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	29,073	79.7	28,775	78.8	298	0.9
内)ワクチン接種者除く	26,545	72.7	24,206	66.3	2,339	6.4
消化器内科	2,077	5.7	1,965	5.4	112	0.3
循環器内科	5,754	15.8	5,635	15.4	119	0.4
外科	8,831	24.2	8,385	23.0	446	1.2
内)ワクチン接種者除く	8,760	24.0	8,385	23.0	375	1.0
脳神経外科	1,561	4.3	1,417	3.9	144	0.4
内)ワクチン接種者除く	1,495	4.1	1,407	3.9	88	0.2
整形外科	6,698	18.4	4,983	13.7	1,715	4.7
形成外科	5,337	14.6	10,692	29.3	△ 5,355	△ 14.7
小児科	15,677	43.0	14,376	39.4	1,301	3.6
内)ワクチン接種者除く	8,109	22.2	2,071	5.7	6,038	16.5
腎臓泌尿器科	7,108	19.5	6,137	16.8	971	2.7
産婦人科	7,772	21.3	6,286	17.2	1,486	4.1
内)ワクチン接種者除く	6,170	16.9	6,286	17.2	△ 116	△ 0.3
放射線科	546	1.5	598	1.6	△ 52	△ 0.1
麻酔科	321	0.9	161	0.4	160	0.5
血管外科	209	0.6	195	0.5	14	0.1
皮膚科	6,168	16.9	5,179	14.2	989	2.7
透析	3,929	10.8	3,727	10.2	202	0.6
健診科・ドック	5,216	14.3	4,500	12.3	716	2.0
計	106,277	291.2	103,011	282.2	3,266	9.0
内)ワクチン接種者除く	94,442	258.7	86,127	236.0	8,315	22.7

- ・ 令和4年度受入患者数
 疑似症患者数 65人 (令和3年度 68人)
 陽性患者数 3,589人 (令和3年度 3,412人)

- ・ 令和4年度検査件数
 PCR検査数 7,011件 (令和3年度 7,607件)
 抗原検査数 10,497件 (令和3年度 6,973件)

○感染拡大防止対策として面会禁止が継続されている状況において、お見舞いメールやオンライン面会ができる体制が整っている。

○コロナ陽性患者受入数及びコロナ検査数の双方ともに令和3年度より増加している。

課題

患者数の増加を目指し、整形外科では、常勤医師を確保することで外傷などに対応できる体制を整備する必要がある。

LINE公式アカウント等様々な広報手段を活用しながら、医療体制等、より一層市民へのPRを強化する必要がある。

(注1)

〈入院〉〈外来〉表中の患者数の1日平均については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図ります。また、医療体制をさらに高度なものとするため、第三者に評価してもらう病院機能評価を受けるための準備を進めます。</p> <p>引き続き、高齢者の医療需要にも対応するため、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みます。</p> <p>患者アンケートやご意見箱の内容を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数 (全体) 1,150 件 <ul style="list-style-type: none"> 外科 380 件 形成外科 500 件 腎臓泌尿器科 120 件 産婦人科 120 件 血管外科 30 件 ・分娩件数 160 件 <p>・オンライン母親学級を継続して開催します。</p> <p>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・市の産後ケア事業への参加を継続し、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援します。</p> <p>・産婦人科と小児科が連携することで、新生児、乳幼児に係る母子医療体制を整備・充実します。</p> <p>・医療機器等の整備 必要性、採算性などを検討の上、医療機器の整備を行います。</p> <p>(導入予定機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上部消化管スコープ、下部消化管スコープの更新 ・産婦人科内診台の増設 	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。</p> <p>DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図りました。</p> <p>腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術、ダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。</p> <p>また、患者の意見を可能な限り尊重したうえで、患者の思いに寄り添った医療サービスの提供を目指しました。</p> <p>○医療サービスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数 (全体) 1,100 件 <ul style="list-style-type: none"> 外科 321 件 整形外科 29 件 形成外科 445 件 腎臓泌尿器科 142 件 産婦人科 143 件 放射線科 4 件 血管外科 16 件 皮膚科 0 件 ・分娩件数 264 件 <p>・母親教室開催 院内健診を受けている妊婦を対象に新生児ケアについての教室を開催 4～6 月はオンラインで月 2 回 参加者 延べ 33 名 7 月以降は YouTube 配信</p> <p>・産科交流会 (オンライン) 12/16 実施 参加者 37 名</p> <p>・市の産後ケア事業へ参加しました。 サポート人数 3 名 (院内において出産直後にショートステイを利用)</p> <p>・医療機器等の整備 腹腔鏡下手術及び内視鏡下手術の増加や産婦人科の患者数増加に伴い、新規医療機器を整備しました。</p> <p>(導入機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大腸ビデオスコープ CF-HQ290ZI 1 本 ・腎盂尿管ビデオスコープ URF-V3 1 本 ・ホロミウム YAG レーザー Lumenis パルス 30H 1 台 ・医用テレメータ WEP-1400 2 式 ・婦人科検診台 DG-7300 1 台 <p>新型コロナウイルス感染症陽性患者等への対応のため、新たに医療機器を導入しました。</p> <p>(導入機器)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子解析装置 cobas Liat 1 台

令和4年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

<科目別手術件数>

	R4	R3	増減
外科	321	335	△ 14
整形外科	29	0	29
形成外科	445	680	△ 235
腎臓泌尿器科	142	110	32
産婦人科	143	103	40
放射線科	4	3	1
血管外科	16	20	△ 4
皮膚科	0	2	△ 2
合計	1,100	1,253	△ 153

・上記以外の件数
心臓カテーテル件数：126件、PCI：74件、内視鏡的手術：332件
(令和3年度：心臓カテーテル：142件、PCI：85件、内視鏡的手術：286件)

- ・主な外科手術例
乳腺悪性腫瘍手術、腹腔鏡下胆嚢摘出術など
- ・主な形成外科手術例
皮膚・皮下腫瘍摘出術、難治性潰瘍手術など
- ・主な産婦人科手術例
卵巣部分切除術、緊急帝王切開術など
- ・主な腎臓泌尿器科手術例
経尿道的前立腺手術、膀胱悪性腫瘍手術など

<腹腔鏡下手術> (胸腔鏡下手術を含む)

	R4	R3	増減
件数	201	164	37

<ダ・ヴィンチ手術>

	R4	R3	増減
件数	9	8	1

※対応症例は、前立腺がん

<分娩件数>

		R4	R3	増減
県内	市内	132	99	33
	市外	55	36	19
	計	187	135	52
県外		77	29	48
合計		264	164	100

<助産制度の実績>

	R4	R3	増減
件数	2	2	0

※市立病院は、児童福祉法第36条に規定する助産施設

・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っています。(件数：8件)

<DPC病院>

平成30年4月にDPC準備病院の届出をし、令和2年4月からDPC対象病院となりました。

<ジェネリック医薬品>

使用率：81.9% (グループ全体使用率：81.1%)

○市の産後ケア事業に参加することで、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援した。

○リスクある分娩は、妊婦検診時から小児科医と情報共有し、小児科医立ち合いのもと分娩を行っている。

○抗原定性検査迅速キットや遺伝子解析機器等を導入・増設し、自院で抗原定性検査、抗原定量検査、PCR検査ができ、迅速な検査結果と検査数の拡充が図れている。

課題

腹腔鏡下手術の件数が増加傾向にあるが、今後もさらに患者への身体的負担が少ない低侵襲手術を推進する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p>がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制の充実を図ります。</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施グループ全体（年 1 回 10 月～11 月）</p> <p>・1 階において、待ち時間が短縮できるように、引き続き案内係を配置し、窓口業務が円滑に行えるよう努めます。</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査結果やご意見箱の意見について、ホームページ等で公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 新人職員を対象とした接遇研修をはじめ、院内スタッフ対象の接遇研修を充実します。</p> <p>・院内における接遇委員会を定期的開催し、接遇の向上を図ります。</p> <p>・事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修の実施</p>	<p>○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制</p> <p>がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保しています。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保しています。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保しています。</p> <p>糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施しています。</p> <p>○患者満足度の向上について ・グループ全体で、令和 4 年度入院・外来患者アンケート調査を 10 月、11 月に実施</p> <p>・令和 3 年度に引き続き、1 階待合に、案内係を配置し、窓口案内を円滑に行い、患者を迅速に誘導しました。</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。</p> <p>令和 4 年度ご意見箱意見総数 入院 11 件、外来 13 件 合計 24 件</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。（回答総数 489 件）</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/2 新入職員向け接遇研修 朝礼において、職員対象に接遇向上の周知</p> <p>・院内における接遇委員会を月 1 回開催（看護部では月 1 回服装チェックなどを実施）</p> <p>・新規入職者の事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施</p>

令和4年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題												
<p>○主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 <がん> ・手術件数：令和4年度 124 件（令和3年度 143 件）</p> <p>・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、医師、看護師、リハビリスタッフ（3 名）によるがんリハビリテーションを実施しています。</p> <p>がん登録件数：R4 203 件 R3 313 件</p> <p>・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 21 件、奈良県総合医療センター18 件 （令和3年度：近畿大学奈良病院 53 件、奈良県総合医療センター17 件）</p> <p><脳卒中> ・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 2 件、奈良県総合医療センター4 件、市立奈良病院 3 件、野崎徳洲会病院 7 件、石切生喜病院 15 件 （令和3年度：近畿大学奈良病院 4 件、奈良県総合医療センター8 件、市立奈良病院 1 件、野崎徳洲会病院 10 件、石切生喜病院 14 件）</p> <p><急性心筋梗塞> ・心臓カテーテル検査 126 件、PCI 74 件 （令和3年度：心臓カテーテル検査 142 件、PCI 85 件）</p> <p><入院・外来アンケート調査> 患者満足度（総合評価の評点）</p> <table border="1" data-bbox="178 1043 568 1173"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>今回</td> <td>91.9</td> <td>89.5</td> </tr> <tr> <td>前回</td> <td>91.8</td> <td>88.5</td> </tr> <tr> <td>GP全体</td> <td>85.3</td> <td>86.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>（主なアンケート分析結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者満足度が高く、総合評価への影響が大きい項目 医師及び看護師の対応で、患者の不安や要望への傾聴や患者が理解できるような説明など患者への配慮 ・患者満足度が低く、総合評価への影響が大きい項目 待ち時間、掲示物や駐車場に関する満足度 <p>（アンケート調査結果は、生駒市立病院ホームページ参照）</p> <p><ご意見箱の主な内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・警備員の態度が不愛想で対応も悪く、気になる。 （回答：警備員に対し、注意を促した。） ・緊急入院で心配でしたが、先生が親切に診てくださり、外来、病棟の看護師も優しく親切で、安心して快適に入院生活を送ることができました。 		入院	外来	今回	91.9	89.5	前回	91.8	88.5	GP全体	85.3	86.1	<p>○放射線治療によるがん治療は、地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）との連携により行われている。</p> <p>○脳卒中については、近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター、市立奈良病院及び野崎徳洲会病院等と連携し、早期に治療できる体制を確保している。</p> <p>○急性心筋梗塞については、内科的治療（PCI）は行えており、外科的治療が必要なときは、奈良県総合医療センターの心臓血管外科との連携体制を整えている。</p> <p>○糖尿病については、かかりつけ医との連携のもと、慢性合併症等の治療を実施している。</p> <p>○「入院・外来アンケート調査」では、患者満足度が高く、総合評価への影響が大きい項目として、医師及び看護師の患者への配慮が上位に上がっている。</p> <p>課題 「入院・外来アンケート調査」において、患者満足度が低く、総合評価への影響が大きい項目については、今後、優先的に改善に取り組む必要がある。</p>
	入院	外来											
今回	91.9	89.5											
前回	91.8	88.5											
GP全体	85.3	86.1											

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について</p> <p>各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について</p> <p>発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM(メディカルリスクマネジメント)委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行いません。</p> <p>●院内感染対策について</p> <p>感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行いません。</p>	<p>○医療安全管理体制について</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する情報公開の方法等については、病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <p>・医療安全管理委員会(毎月1回開催)</p> <p>・医療安全カンファレンス(毎週1回開催)</p> <p>・医療安全勉強会(年2回開催)</p> <p>○医療事故に対する対応について</p> <p>医療事故発生時は、引き続き、次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <p>・患者の安全確保と救命処置を最優先します。</p> <p>・病院内における事故等の報告を速やかに行います。</p> <p>・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。</p> <p>・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。</p> <p>・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。</p> <p>○院内感染対策について</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組み、感染症のまん延期には、N95マスクの着用を徹底します。</p> <p>・院内感染対策委員会(毎月1回開催)</p> <p>・ICTラウンド(毎週1回開催)</p> <p>・感染勉強会(年2回開催)</p> <p>・ICT合同カンファレンス(年4回)</p> <p>・感染対策用として、マスク・消毒液等計画的に備蓄を行います。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、PCR検査体制、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入体制及びワクチン接種体制など、新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。</p>	<p>○医療安全管理体制について</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。</p> <p>さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。</p> <p>・医療安全勉強会</p> <p>eラーニング 7月開催 524名参加 12月開催 723名参加</p> <p>○医療事故に対する対応について</p> <p>医療事故発生時に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制整備に努めました。</p> <p>○院内感染対策について</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <p>・院内感染対策委員会、ICTラウンドについて計画どおり実施しました。</p> <p>・感染勉強会</p> <p>eラーニング 10月開催 557名参加 3月開催 280名参加</p> <p>・ICT合同カンファレンス 6/21、10/4、12/16、2/14 (ZOOMにて開催)</p> <p>・感染対策用として、計画的にマスク・消毒液等の備蓄を行いました。 備蓄数(令和5年3月31日現在) マスク 6,000枚 消毒液 250ml 117個等</p> <p>・非常勤医師等を含む全職員への院内感染対策を徹底しました。(常時マスク着用の徹底、PCR検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等个人防护具の装着の徹底)</p>

令和4年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題
<p><医療安全勉強会の内容> e-ラーニング 7月 ① 医療ガス講習会 ② 診療放射線の安全利用の研修 12月 ① 転倒防止の手順 ② ヒューマンエラーの理解 ③ 安全を守るための職員間のコミュニケーション</p> <p><感染勉強会の内容> e-ラーニング 10月 ① 針刺し切創後の対応について ② 消毒液について学びましょう 3月 手指消毒について</p> <p><新型コロナウイルス感染症対策会議> ・県新型コロナウイルス感染症に関する連絡会へ21回参加 ・院長等3役中心のコロナ対策会議を21回開催</p> <p><新型コロナウイルス感染症対策> ・プレハブを含む屋外での発熱外来 ・面会制限 ・来院者の検温確認 ・お見舞いメールの運用：116件 ・オンライン面会：174件 ・オンライン母親教室：33件（7月からYouTube配信）</p>	<p>○院内感染対策に係る地域医療連携として、奈良県総合医療センターを中心とする合同カンファレンスに ZOOM により参加し、市内等病院間の相互理解や情報共有を行うことで、地域医療連携を強化している。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、院内の動線を明確に区分するとともに、エレベーターなど区分できない所も、使用時間を分けるなど院内感染対策が十分に行われている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症疑似症患者を診療する際には、屋外のプレハブを使用するなど、感染管理を徹底している。</p> <p>○抜き打ちで手の汚れを検査するなど、院内感染対策委員会が活発に活動している。</p> <p>○医療安全管理委員会や医療安全カンファレンス、勉強会などが計画通りに行われており、医療安全に関する体制が整備され、事故防止に向けた継続的な改善活動が行われている。</p> <p>課題 新型コロナウイルス感染症対応の経験を踏まえて今後起こりうる新興感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、院内における感染管理をより一層徹底する必要がある。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与</p> <p>地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組</p> <p>●在宅支援機能の充実 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行いません。 また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用として 5 床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施</p> <p>・院内外の医療従事者に対する TCLS 又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的実施 (2 年に 1 回程度)</p> <p>・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度)</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域医療連携室において、引き続き、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携を推進します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講習会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進します。</p> <p>・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会 (NCPR)</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図りました。 地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携に努めました。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について</p> <p>・新生児蘇生法講習会 (NCPR) 9/25 10 名参加</p>

令和4年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																				
<p><医療連携登録医> 医療連携登録医からの紹介件数：1,065件（市内659件、市外406件） （令和3年度：1,063件（市内650件、市外413件））</p> <p><協力医療機関連携施設> 協力医療機関連携施設からの患者の救急車による搬送件数：53件 （令和3年度：41件）</p> <p><入退院支援チーム> 市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。</p> <p>入退院支援チームの実績</p> <table border="1" data-bbox="150 638 794 804"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入退院支援加算</td> <td>2,077件</td> <td>2,016件</td> <td>61件</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>116件</td> <td>142件</td> <td>△26件</td> </tr> <tr> <td>退院時共同加算</td> <td>30件</td> <td>37件</td> <td>△7件</td> </tr> <tr> <td>退院前・後訪問指導料</td> <td>1件</td> <td>6件</td> <td>△5件</td> </tr> </tbody> </table>		R4	R3	増減	入退院支援加算	2,077件	2,016件	61件	介護支援連携指導	116件	142件	△26件	退院時共同加算	30件	37件	△7件	退院前・後訪問指導料	1件	6件	△5件	<p>○医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーによる入退院支援チームの活動や入退院調整マニュアルの積極的な活用により、入退院支援加算件数が増加しており、退院後も切れ目のないケアを提供できている。</p> <p>○地域の医療機関への医療教育プログラムを提供し、地域の医療従事者の知識や技術の向上を支援している。</p> <p>○地域医療連携室にて、紹介元の診療所の医師が患者の電子カルテを閲覧できるようにするなど、患者の状況や診療情報を共有できる取組が推進されている。</p> <p>課題 地域医療機関への医療教育プログラムの提供など地域医療機関との交流を活発にする取組を通じて、地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図る必要がある。</p>
	R4	R3	増減																		
入退院支援加算	2,077件	2,016件	61件																		
介護支援連携指導	116件	142件	△26件																		
退院時共同加算	30件	37件	△7件																		
退院前・後訪問指導料	1件	6件	△5件																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放型病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法の整備 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等提供を行ないます。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への外来予定表、当直予定表等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。 また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、引き続き、MRI、CT、内視鏡及びエコーの共同利用を推進します。 市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する新型コロナウイルス感染症に関する連絡会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・共同利用件数（年間） MRI 220 件 CT 120 件 内視鏡 25 件 エコー 20 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的にPRします。 (令和 5 年 3 月 31 日現在) ・医療連携登録医 70 施設 ・協力医療機関連携施設 65 施設</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外でも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。</p> <p>・紹介率 35% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 2 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。 専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。 やまと西和ネットの活用により、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携を強化するとともに、来院患者への同ネット参加を呼び掛けます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。 また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器の紹介利用を実施しました。 市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>・医療機器の紹介利用件数 MRI 289 件（全利用件数 2,812 件） CT 130 件（全利用件数 8,869 件） 内視鏡 33 件（全利用件数 2,515 件） エコー 60 件（全利用件数 4,869 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを積極的にPRしました。 (令和 5 年 3 月 31 日現在) ・医療連携登録医 67 施設・82 名 ・協力医療機関連携施設 65 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 1,465 件、254 施設 (令和 3 年度 2,143 件、263 施設)</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受け入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 29.0% ・逆紹介率 13.6%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進しました。 地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。 やまと西和ネットに参加し、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携に努めました。 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会及び在宅医療介護推進部に、地域医療連携室の職員が部会員として参加。</p>

令和4年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題																																																				
<p>・R4.3/29 生駒地区医師会への入会申請を提出（現在、医師会にて審査中）</p> <p><医療機器の紹介利用></p> <table border="1" data-bbox="164 338 715 499"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI</td> <td>289</td> <td>258</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>130</td> <td>127</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>内視鏡</td> <td>33</td> <td>26</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>エコー</td> <td>60</td> <td>23</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>※適切な表記にするため、共同利用を紹介利用に変更。</p> <p><医療連携登録医></p> <table border="1" data-bbox="164 580 715 651"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>67</td> <td>68</td> <td>△ 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・67施設の内、市内内科診療所は29施設・35名 ・全市内科診療所（89施設）の 32.6%</p> <p><協力医療機関連携施設></p> <table border="1" data-bbox="164 799 715 871"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設数</td> <td>65</td> <td>64</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p><紹介率・逆紹介率等></p> <table border="1" data-bbox="164 931 780 1097"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>29.0</td> <td>24.9</td> <td>4.1</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>13.6</td> <td>13.6</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>地域(市内)医療機関の市立病院利用率</td> <td>83.1</td> <td>85.4</td> <td>△ 2.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>・紹介率 $(\text{紹介初診患者数} + \text{初診救急患者数}) \div \text{初診患者数}$ $(3,143 + 3,149) \div 21,732 = 29.0\%$</p> <p>・逆紹介率 逆紹介患者数 ÷ 初診患者数 $2,946 \div 21,732 = 13.6\%$ (参考:紹介元の医療機関に返した入院患者数 ÷ 紹介による入院患者数) $217 \div 589 = 36.8\%$</p> <p>・地域(市内)医療機関の市立病院利用率 市内で紹介を受けた内科医療機関数 ÷ 市内内科医療機関数 $74 \div 89 = 83.1\%$</p> <p><やまと西和ネット></p> <p>・西和医療圏（生駒市他1市7町）の医療機関、介護事業所を利用される方の病気、薬などの情報を共有 参考：令和5年3月31日現在 参加施設数 46施設</p> <p><生駒市医療介護連携ネットワーク協議会></p> <p>10/18 部会報告やコロナ禍における医療・介護連携の課題と対応について意見交換等</p> <p><在宅医療介護推進部会></p> <p>2/1 ・部会のこれまでの取組と課題について ・生駒市のめざすべき姿と実現までのロードマップについてをテーマにしたグループワーク等</p> <p>3/23 ・生駒市のめざすべき姿と実現までのロードマップについてをテーマにしたグループワーク等</p>		R4	R3	増減	MRI	289	258	31	CT	130	127	3	内視鏡	33	26	7	エコー	60	23	37		R4	R3	増減	施設数	67	68	△ 1		R4	R3	増減	施設数	65	64	1		R4	R3	増減	紹介率	29.0	24.9	4.1	逆紹介率	13.6	13.6	0.0	地域(市内)医療機関の市立病院利用率	83.1	85.4	△ 2.3	<p>○地域医療連携室の職員が地域の医療機関を毎月訪問し、診療内容等の周知の取組が強化されていることにより、MRI やCTなどの利用件数が増加傾向であり、地域医療連携の推進につながっている。</p> <p>○患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告等が徹底されている。</p> <p>課題 地域医療の課題を共有し、また、市内の医師との顔の見える関係を構築することで、さらにスムーズな地域医療連携ができるよう、医師会への入会を目指します。</p>
	R4	R3	増減																																																		
MRI	289	258	31																																																		
CT	130	127	3																																																		
内視鏡	33	26	7																																																		
エコー	60	23	37																																																		
	R4	R3	増減																																																		
施設数	67	68	△ 1																																																		
	R4	R3	増減																																																		
施設数	65	64	1																																																		
	R4	R3	増減																																																		
紹介率	29.0	24.9	4.1																																																		
逆紹介率	13.6	13.6	0.0																																																		
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	83.1	85.4	△ 2.3																																																		

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告																		
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受け入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="108 815 501 1487"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数 (1 月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td rowspan="2">市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5 回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>外科系 5 回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td rowspan="2">奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2 回</td> </tr> <tr> <td>夜間 2 回</td> </tr> <tr> <td>小児科</td> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10 回 (※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00~24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。 ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)	内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回	外科系	外科系 5 回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回	夜間 2 回	小児科	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。 また、新型コロナウイルス疑似症患者及び陽性患者の救急受入をします。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 2,000 件 救急応需率 95.0 % <p>・市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する新型コロナウイルス感染症に関する連絡会に参加し、救急医療体制の充実のため病病連携強化を図ります。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。</p> <p>・小児科の常勤医師の増員により、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制の充実を図ります。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備します。</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受入体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。 また、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受入をしました。</p> <p>○救急医療体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> 救急受入件数 3,149 件 (市内 1,542 件、市外 1,607 件) 救急応需率 79.8 % <p>・市が開催する市内等医療機関との意見交換会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たしました。</p> <p>・令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しました。</p> <p>・7/26 令和 4 年度第 1 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会 2/9 令和 4 年度第 2 回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会 に出席</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備しています。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数 (1 月あたり)																		
内科系	市内内科系・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回																		
外科系		外科系 5 回																		
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回																		
		夜間 2 回																		
小児科	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回 (※1)																		
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回																		

令和4年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

<救急要請件数>

	R4	R3	増減
件数	3,946	2,277	1,669

<救急受入件数>

	R4	R3	増減
市内	1,542	1,047	495
市外	1,607	968	639
計	3,149	2,015	1,134

<救急応需率>

	R4	R3	増減
救急受入件数÷救急要請件数	79.8%	88.5%	△ 8.7%

<ワークイン患者受入件数>

	R4	R3	増減
件数	3,053	3,483	△ 430
月平均	254.4	290.3	△ 35.9

<救急患者の転送件数>

	R4	R3	増減
受入件数	3,149	2,015	1,134
県内転送	81	57	24
県外転送	32	37	△ 5
転送計	113	94	19

<救急患者の転送率>

(注2)

	R4	R3	増減
県内転送	2.6%	2.8%	△0.2%
県外転送	1.0%	1.8%	△0.8%
転送計	3.6%	4.6%	△1.0%

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（全時間帯）>※ (注2)

	R4	R3	増減
市内計	67.5%	68.1%	△0.6%
市立病院	29.6%	23.1%	6.5%
その他病院	37.8%	45.0%	△7.2%

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（当直時間帯）>※ (注2)

	R4	R3	増減
市内計	64.6%	65.8%	△1.2%
市立病院	33.1%	26.4%	6.7%
その他病院	31.5%	39.4%	△7.9%

※市消防本部提供、速報値

<市内等輪番病院のバックアップ状況>

	R4	R3	増減
バックアップ率	37.4%	41.0%	△3.6%

計算式 A÷B

A 生駒市立病院が受け入れた件数

B 救急患者を市内等輪番病院が当番日に受け入れできなかった件数

(令和4年度：126件÷337件、令和3年度：94件÷232件)

○コロナ禍においても、24時間365日救急患者の受入体制を整え、発熱患者を断らない方針のもと、救急応需率は高い数値を維持し、地域の救急医療に対しての貢献ができています。

○市立病院の設立目的である市内の小児医療の充実のため、北和小児科二次輪番体制へ令和3年10月以降参加している。

課題

市内の二次救急医療体制で中心的な役割を果たすために、市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップなどの充実をより一層図る必要がある。

医師の働き方改革を見据えて、二次救急医療提供体制を維持できるよう取組を進めていく必要がある。

(注2)

表中の%は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、計と内訳の計が一致しない場合があります。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告										
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="103 421 464 929"> <thead> <tr> <th></th> <th>人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table>		人員体制	通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ・臨床工学技士 オンコール体制</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制) ・医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制 ・外来看護師 2 名の当直 ・放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 ・臨床工学技士 オンコール体制</p>
	人員体制											
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制											
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直											
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置											
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直											
<p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="103 1014 485 1848"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科(二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科(二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科(二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(二次輪番)</td> <td>諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	対応レベル	内科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>
診療科	対応レベル											
内科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)											
外科・整形外科・脳神経外科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)											
小児科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可											
産婦人科(二次輪番)	諸検査(CT・MRI・X線・血液等)及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)											

令和4年度 事業報告の補足説明

取組の評価・課題

<医師のオンコール体制>
消化器内科、循環器内科、外科、形成外科、腎臓泌尿器科、産婦人科、小児科

- ・脳神経外科については、他病院との連携体制で対応連携実績

	R4	R3	増減
近畿大学奈良病院	4件	5件	△1件
奈良県総合医療センター	5件	9件	△4件
市立奈良病院	3件	1件	2件
野崎徳洲会病院	7件	10件	△3件
石切生喜病院	16件	21件	△5件
若草第一病院	1件	—	1件

- ・当直時間帯でのCT、MRI検査、心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術の各実績

	R4	R3	増減
CT	2,195件	1,617件	578件
MRI	154件	97件	57件
心臓カテーテル検査	7件	14件	△7件
内視鏡検査	15件	14件	1件

○当直可能な常勤医師2名、看護師、放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員の24時間365日の救急受入体制が維持されている。

○24時間365日、病院事業計画に掲げるCT、MRI、X線、血液等の諸検査及び緊急入院並びに心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術に対応可能な体制が継続されている。

課題

整形外科・脳神経外科の常勤医師の確保・増員に努め、外傷患者等への救急受入が可能な体制を整備する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の充実を図ります。</p> <p>○小児医療体制について 小児科の常勤医師の増員により、奈良県と情報交換をしながら、北和小児科二次輪番体制の充実を図ります。</p>	<p>小児の入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について 令和 3 年度に引き続き、北和小児科二次輪番体制へ月 1 回参加しました。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。 生駒市災害対策本部及び生駒市医師会災害対策本部と緊密な連携協力体制の下、市内 4 病院とともに後方支援病院として災害時医療を担います。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや、状況に応じては地域住民も参加する実地訓練を行います。 ・消防訓練(通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練(トリアージ・患者受入訓練・机上訓練) 市が開催する市内等病院との意見交換会、奈良県が開催する新型コロナウイルス感染症に関する連絡会に参加し、病病連携強化を図ります。</p>	<p>大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制整備に引き続き努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・消防訓練 12/17 実施 参加者 56 名 3/18 実施 参加者 46 名 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 12/17 実施 参加者 56 名</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど、市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>さらなる市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするよう努めます。 乳幼児への定期予防接種を実施します。</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 220 件 胃がん(胃内視鏡)検診 70 件 乳がん検診 270 件 子宮頸がん検診 290 件 肝炎ウイルス検診 25 件 特定健診 820 件 一般健診 1,500 件 人間ドック・脳ドック 1,800 件 その他団体健診等 2,100 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 600 件 肺炎球菌 70 件</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民との交流、健康づくりを推進するため、コロナ禍において、オンライン形式での医療講演会を定期的で開催しました。なお、新型コロナウイルス感染症の沈静化が見受けられたことから、11 月以降は感染対策について十分に気をつけながら対面開催へ変更しました。</p> <p>・医療講演会 44 講座 参加者 2,283 名 (内、生駒市医師会や自治会等各種団体への出張講座 4 講座 参加者 114 名含む) ・どこでも講座・出前授業(1 講座 参加者 64 名)</p> <p>・市民健診 大腸がん検診 220 件 胃がん(胃内視鏡)検診 62 件 乳がん検診 278 件 子宮頸がん検診 259 件 肝炎ウイルス検診 17 件 特定健診 1,047 件 一般健診 1,730 件 生活保護者等の健康診査 10 件 人間ドック・脳ドック 2,008 件 その他団体健診等 1,870 件</p> <p>・高齢者定期予防接種 インフルエンザ 697 件 肺炎球菌 59 件</p> <p>・小児定期予防接種 703 件</p>

令和4年度 事業報告の補足説明					取組の評価・課題																																																																								
<令和4年度小児科二次輪番体制当番日の患者数> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">入院</td> <td>救急車</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外来</td> <td>救急車</td> <td>30</td> <td>10</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>41</td> <td>11</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>71</td> <td>21</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>80</td> <td>26</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>							R4	R3	増減	入院	救急車	7	4	3	その他	2	1	1	計	9	5	4	外来	救急車	30	10	20	その他	41	11	30	計	71	21	50	合計		80	26	54	<p>○市立病院の設立目的である市内の小児医療の充実のため、北和小児科二次輪番体制へ令和3年10月以降参加している。</p> <p>○産科での出生児の診療や1か月健診は小児科が担当している。また、胎児へのリスクの高い分娩には小児科が立ち会っている。</p> <p>課題 北和小児科二次輪番体制の当番回数を増やす等、地域の小児救急医療に対して、さらに貢献する必要がある。</p>																																				
		R4	R3	増減																																																																									
入院	救急車	7	4	3																																																																									
	その他	2	1	1																																																																									
	計	9	5	4																																																																									
外来	救急車	30	10	20																																																																									
	その他	41	11	30																																																																									
	計	71	21	50																																																																									
合計		80	26	54																																																																									
					<p>○火災や停電、大規模災害を想定した体制が整備されている。</p> <p>課題 防災訓練を行う際には大規模災害を想定し、市災害対策本部、医師会災害対策本部や地元自治会と連携協力体制で実施する必要がある。</p>																																																																								
<医療講演会（出張講座含む）> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>44</td> <td>40</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>2,283</td> <td>736</td> <td>1,547</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療講演会の内容例> ・8周年記念「特別医療講演」病院の歩みや小児医療・コロナに関する内容 ・糖尿病 知って得する基礎知識</p> <p><市民健診></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>220</td> <td>204</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>胃がん（胃内視鏡）検診</td> <td>62</td> <td>55</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>278</td> <td>240</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>259</td> <td>262</td> <td>△3</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>17</td> <td>23</td> <td>△6</td> </tr> <tr> <td>特定健診※1</td> <td>1,047</td> <td>852</td> <td>195</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>1,730</td> <td>1,507</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>生活保護者等の健康診査※2</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>△4</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>2,008</td> <td>1,689</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,870</td> <td>1,744</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>7,501</td> <td>6,590</td> <td>911</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 生活習慣病を予防・早期発見するための健診です。 ※2 健康増進法施行規則第4条の2第4号に定める健康診査</p> <p><高齢者インフルエンザ予防接種></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R3</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数（市立病院）</td> <td>697</td> <td>579</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>件数（生駒市全体）</td> <td>17,757</td> <td>17,559</td> <td>198</td> </tr> </tbody> </table> <p>※64歳以下の基礎疾患をお持ちの方の人数も含まれます。</p>						R4	R3	増減	件数	44	40	4	参加者数	2,283	736	1,547		R4	R3	増減	大腸がん検診	220	204	16	胃がん（胃内視鏡）検診	62	55	7	乳がん検診	278	240	38	子宮頸がん検診	259	262	△3	肝炎ウイルス検診	17	23	△6	特定健診※1	1,047	852	195	一般健診	1,730	1,507	223	生活保護者等の健康診査※2	10	14	△4	人間ドック・脳ドック	2,008	1,689	319	その他団体健診等	1,870	1,744	126	合計	7,501	6,590	911		R4	R3	増減	件数（市立病院）	697	579	118	件数（生駒市全体）	17,757	17,559	198	<p>○乳がん検診では、マンモグラフィを導入し、すべて女性の放射線技師が対応し、受診者に配慮した体制を整備している。</p> <p>課題 更なる予防医療の推進のために、医療講演会などの積極的な取組が必要である。</p>
	R4	R3	増減																																																																										
件数	44	40	4																																																																										
参加者数	2,283	736	1,547																																																																										
	R4	R3	増減																																																																										
大腸がん検診	220	204	16																																																																										
胃がん（胃内視鏡）検診	62	55	7																																																																										
乳がん検診	278	240	38																																																																										
子宮頸がん検診	259	262	△3																																																																										
肝炎ウイルス検診	17	23	△6																																																																										
特定健診※1	1,047	852	195																																																																										
一般健診	1,730	1,507	223																																																																										
生活保護者等の健康診査※2	10	14	△4																																																																										
人間ドック・脳ドック	2,008	1,689	319																																																																										
その他団体健診等	1,870	1,744	126																																																																										
合計	7,501	6,590	911																																																																										
	R4	R3	増減																																																																										
件数（市立病院）	697	579	118																																																																										
件数（生駒市全体）	17,757	17,559	198																																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 4 年度 事業計画	令和 4 年度 事業報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告等、広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院事業推進委員会 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査 ・ご意見箱の内容に対する対応 <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、市民交流事業を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバル ・院内コンサート 等 	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み グループ全体で実施した令和 3 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 4 年 6 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 さらに、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査については、市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、次年度の事業計画作成時に反映させる予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。 <p>○市民交流事業について <健康フェスティバル> 11月6日(日)開催 参加者 1,709名</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構)14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き、市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。 	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパー等資源ごみの分別回収を強化しました。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。

令和4年度 事業報告の補足説明	取組の評価・課題
<p><生駒市病院事業推進委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2/25 第28回会議 会議内容 令和5年度生駒市立病院の管理運営に関する年度協定書(案)について <p><生駒市立病院管理運営協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/26 令和4年度第1回会議開催 会議内容 令和3年度実施状況調査報告書(案)について ・ 11/25 令和4年度第2回会議開催 会議内容 令和4年度中間報告書(案)について ・ 3/17 令和4年度第3回会議開催 会議内容 令和5年度事業計画書について 	<p>○ご意見箱における患者や利用者の意見等を精査し、対応可能な案件については速やかに対応することで、市民満足度の向上につながる仕組みができています。</p> <p>○退院時に市立病院が独自で行う患者アンケートを実施することにより、患者の意見を集約し、患者満足度の向上に努めている。</p> <p>○病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会において、市民等に情報を提供し、意見を聴取することで、市民参加による病院運営が可能となっている。</p> <p>課題 健康フェスティバルなどの機会を通じて、市民に親しみを感じてもらえるような病院を目指す必要がある。</p>
	<p>○市組織と同等の取組が実施されている。</p>

収支

(単位 千円)

令和4年度事業計画 (令和5年3月末)	令和4年度事業報告	計画と報告の差額
医業収入 4,221,270	医業収入 5,033,234	医業収入 811,964
医業費用 4,133,906	医業費用 4,418,937	医業費用 285,031
医業利益 87,364	医業利益 614,297	医業利益 526,933
その他費用 250,272	その他費用 0	その他費用 △ 250,272
医業外収益 20,000	医業外収益 307	医業外収益 △ 19,693
医業外費用 0	医業外費用 708	医業外費用 708
経常利益 △ 142,908	経常利益 613,896	経常利益 756,804